

| | |
|-------|-------|
| 受付年月日 | 年 月 日 |
| 伺年月日 | 年 月 日 |
| 決裁年月日 | 年 月 日 |

| | |
|--------|---|
| 支給額 | 円 |
| 埋葬料 | 円 |
| 埋葬料付加金 | 円 |
| 埋葬費 | 円 |
| 埋葬費付加金 | 円 |

| | |
|---------|-------|
| 支給支払決議書 | |
| 資格取得 | 年 月 日 |
| 資格喪失 | 年 月 日 |
| 支払年月日 | 年 月 日 |

被保険者 埋葬料(費)・埋葬料(費)付加金請求書

(注意事項)

| | | | | |
|-------------------------------|----------------------|-----------------------------|-------------|--------------------|
| ① 被保険者証の記号・番号 | 第 号 | ② 被保険者の勤務していた、または勤務している事業所の | (ア) 名称 | |
| | | | (イ) 所在地 | 〒 |
| ③ 死亡した年月日 | 年 月 日 | | ④ 死亡原因 | |
| ⑤ 被保険者が死亡したための請求であるとの請求は、その者の | (ア) 氏名 | (イ) 埋葬した年月日 | 年 月 日 | (ウ) 埋葬に要した費用 金 円 |
| | (エ) 被保険者の(最後の)標準報酬月額 | | 千 円 | (オ) 死亡した被保険者との請求関係 |
| ⑥ 被扶養者が死亡したとき | (ア) 氏名 | (イ) 生年月日 | 明昭 大平 年 月 日 | (ウ) 被保険者との続柄 |
| ⑦ 老人保健法の医療を受けていたとき | 市町村番号 | 受給者番号 | | 発行機関名 |
| ⑧ 備考 | | | | |
| ⑨ 振込希望の銀行又は郵便局名 | 銀行 | 支店 (普通当座第 号) | 郵便局 | |
| 上記のとおり請求します。 | | | | |
| 年 月 日 ⑩ 〒 | | | | |
| 請求者の住所 氏名 ⑪ | | | | |
| 健康保険組合理事長 殿 ⑫ | | | | |

| | | | |
|-----------------|--|--------------|------|
| ⑬ 委任状 | 私は 年 月 日 請求した 被保険者 埋葬料(費)・埋葬料(費)付加金のうち 金 年 月 日 円也の受領に関する事。 | ⑭ 住所 〒 | ⑮ 氏名 |
| | | 請求者の ⑯ 住所 〒 | ⑰ 氏名 |
| | | 代理人の ⑱ 住所 〒 | ⑲ 氏名 |
| ⑲ 振込希望の銀行又は郵便局名 | 銀行 | 支店 (普通当座第 号) | 郵便局 |

| | | |
|-------|---|---|
| ⑳ 領収書 | 金 円也但し うえの金額を領収いたしました。 年 月 日 健康保険組合理事長 殿 受領者 ⑳ 住所 〒 ㉑ 氏名 | ㉒ |
|-------|---|---|

| | | |
|---------------------|-------|-----------|
| ㉔ 死亡した者の氏名 | 死亡した者 | 被保険者・被扶養者 |
| 死亡した年月日 | 年 月 日 | 死亡 |
| うえのとおり相違ないことを証明します。 | | |
| 年 月 日 | | |
| 事業主 ㉕ 住所 〒 | | |
| ㉖ 氏名 | | |

ア、標題の「被保険者」、「家族」の文字は、いずれか該当する文字をマルで囲むこと。
イ、①欄は、「健康保険の被保険者証」などを見て記載すること。
ウ、被保険者が死亡したための請求であるときは、⑤の(イ)欄は事業主から交付された死亡当時の「賃金支払内訳票」などを見て記載すること。
エ、被保険者が死亡したための請求であるときは、⑤の(ア)と(イ)と(ウ)の各欄に、また被扶養者が死亡したための請求であるときは、⑤の(ア)から(ウ)までの各欄に、「該当せず」とし、その他の欄は洩れなく記載すること。
オ、⑧欄は、被保険者の資格を喪失した後の死亡であるときには、その資格喪失年月日を、また死亡のときが死亡の日の三カ月前まで健康保険で療養を受けていたときに、その傷病名と健康保険による療養の開始日などを記載すること。
カ、⑨欄は請求者が直接受領するときに振込希望の銀行又は郵便局を記載すること。
キ、⑨欄は、委任により代理受領するときに、代理人の希望する振込希望銀行名又は郵便局名を記入して下さい。
ク、⑨欄は、直接健康保険組合の窓口で受領するときに記入して下さい。
ケ、死亡が第三者の行為によるものであるときは別に「第三者行為による傷病(死)届」をつくって、この請求書に添付すること。
事業主の証明を得ないで請求する場合は、この請求書に区市町村長の埋葬許可証、火葬許可証の写、死亡診断書、死体検案書、検視調書の写を添付して下さい。

ア、標題の「被保険者」、「家族」の文字は、いずれか該当する文字をマルで囲むこと。
イ、①欄は、「健康保険の被保険者証」などを見て記載すること。
ウ、被保険者が死亡したための請求であるときは、⑤の(イ)欄は事業主から交付された死亡当時の「賃金支払内訳票」などを見て記載すること。
エ、被保険者が死亡したための請求であるときは、⑤の(ア)と(イ)と(ウ)の各欄に、また被扶養者が死亡したための請求であるときは、⑤の(ア)から(ウ)までの各欄に、「該当せず」とし、その他の欄は洩れなく記載すること。
オ、⑧欄は、被保険者の資格を喪失した後の死亡であるときには、その資格喪失年月日を、また死亡のときが死亡の日の三カ月前まで健康保険で療養を受けていたときに、その傷病名と健康保険による療養の開始日などを記載すること。
カ、⑨欄は請求者が直接受領するときに振込希望の銀行又は郵便局を記載すること。
キ、⑨欄は、委任により代理受領するときに、代理人の希望する振込希望銀行名又は郵便局名を記入して下さい。
ク、⑨欄は、直接健康保険組合の窓口で受領するときに記入して下さい。
ケ、死亡が第三者の行為によるものであるときは別に「第三者行為による傷病(死)届」をつくって、この請求書に添付すること。
事業主の証明を得ないで請求する場合は、この請求書に区市町村長の埋葬許可証、火葬許可証の写、死亡診断書、死体検案書、検視調書の写を添付して下さい。